

日本船舶振興会
昭和56年度補助事業

省エネルギー下におけるカーフェリー及び
内航革新船の役割と機能分担に関する研究
(中間報告)

昭和57年3月

財団法人 九州海運振興センター

この研究調査は、モーターボート競走法による
財団法人日本船舶振興会から補助金を受けて行な
った事業である。

は し が き

本報告書は、当財団が財団法人日本船舶振興会の昭和56年度補助事業として実施した九州における海運の振興と近代化に関する研究事業の一つである「省エネルギー下におけるカーフェリー及び内航革新船の役割と機能分担に関する研究」の成果をとりまとめたものである。

わが国の経済社会は、高度成長から安定成長への移行に伴ない、長期的な経済計画の目標や国土利用の方向に対応した諸施策が検討されてきている。

高速道路、鉄道、港湾、空港等からなる交通ネットワークについても新しい時代への適応を求められており、新しい経済社会計画や国土計画との調整を図りつつ効果的な交通網の整備を行なう必要がある。また、省エネルギーが国策として推進されているなかで、国家的にみた場合適正資源配分、事業の健全な発展が損われないように物資輸送の各種交通機関による分担やその調整、および秩序維持を図ることが急務となっている。

このような情勢の下において、現在、九州における海上輸送についてみれば、对本州間に長中距離カーフェリーが各所から就航し、また、ロールオン・ロールオフ（RORO船）等の内航革新船が就航する等、最近における九州をめぐる海運の近代化は著しく進んできており、今後とも長距離カーフェリーあるいは内航革新船の就航がますます増加するものと予想される。

このため、当財団では昭和56年度及び57年度事業として本調査研究事

業に取り組んだものである。

本年度は長距離カーフェリーと内航革新船の運送の実態及び特性を把握するとともに、その主要な利用者である荷主やトラック運送業者の機関選択の現状等に関する調査研究を行なった。

本調査研究が、海上運送業界の健全な発展の一助となることを期待している。

最後に、本調査研究に際して終始ご指導、ご協力をいただいた関係官庁や各業界の方々、さらには委員をはじめとした関係各位並びに調査と集計解析担当の株式会社、日通総合研究所に改めて謝意を表する次第である。

昭和57年3月

財団法人 九州海運振興センター
会 長 邑 本 義 一

「カーフェリー及び内航革新船の 役割と機能分担に関する研究」

—— 委 員 名 簿 ——

委員 長	中 條 勝 美	阪九フェリー(株)常務取締役北九州営業所長
委 員	南 照 雄	九州海運局運航部輸送課長
"	片 山 忠	第四港湾建設局企画課長
"	鎮 守 藤 吉	福岡陸運局自動車部貨物第一課長
"	井 口 泰 明	名門カーフェリー(株)取締役新門司港事務所長
"	花 岡 健 治	大洋フェリー(株)常務取締役
"	宮 崎 公 勇	(前)大洋フェリー(株)常務取締役
"	小笠原 照 規	オーシャン東九フェリー(株)常務取締役
"	小 林 泰	日本通運(株)九州支店海運倉庫部調査役
"	藤 木 洋一郎	(前)日本通運(株)九州支店海運部次長
"	邑 本 直 樹	北九州運輸(株)常務取締役
"	宮 崎 昭	八幡大学法経学部助教授
事 務 局	山 口 迪	九州海運局運航部輸送課補佐官
"	大 庭 茂 樹	(前)九州海運局運航部輸送課補佐官
"	赤 間 啓 一	九州海運局運航部輸送課流通企画係長
"	松 下 勝	(財)九州海運振興センター調査役

目 次

は し が き

委 員 名 簿

序

1. 調査の目的	1
2 調査の体系及び対象航路	1
3 調査の内容	4
4 調査対象船舶（長距離カーフェリー・内航革新船）の 法規制等	5

第1章 北部九州と京浜、阪神地域間の輸送動向

1. 北部九州と京浜、阪神間貨物輸送の現況	17
(1) 北部九州・阪神地域間貨物輸送	17
(2) 北部九州・京浜地域間貨物輸送	23
2 各種輸送機関別の輸送実態	26
(1) 鉄 道	26
(2) ト ラ ッ ク	37
(3) 長距離カーフェリー	44
(4) 内航革新船	53

第2章 長距離カーフェリー及び内航革新船の実態調査結果にみる輸送の特性

1. 実態調査の概要	57
(1) 調査対象	57
(2) 調査方法	57

2 長距離カーフェリーの調査結果	58
(1) 航送車両台数	58
(2) 貨物輸送数量	72
(3) ターミナル到着時間	85
3 内航革新船の調査結果	88
(1) トラック(シャーシ)輸送	88
(2) コンテナ輸送	99
4 外航海上コンテナ・フィーダー輸送の調査結果	110
(1) コンテナ輸送個数	110
(2) コンテナ貨物輸送数量	113
5 長距離カーフェリー及び内航革新船の特性比較	119
(1) 前 提	119
(2) 利 用 者	119
(3) 航送車両のタイプ	121
(4) 輸 送 品 目	122
(5) 流 動 圏 域	126
(6) 車両の航送方式	129
(7) ターミナル到着時間	129
第3章 利用者による長距離カーフェリー及び内航革新船の選好特性	
1. アンケート調査の概要	131
(1) 調 査 目 的	131
(2) 調 査 対 象	131
(3) 調 査 方 法	132
2 荷主(製造業、卸売業)の選好特性	132
(1) 利用者の貨物輸送概況	132

(2) カーフェリー及び内航革新船の利用の実態	134
(3) カーフェリー及び内航革新船の選択の諸条件	137
(4) カーフェリー及び内航革新船利用の将来展望	146
(5) 要望事項その他	149
3. トラック業者の選好特性	155
(1) カーフェリー及び内航革新船利用者の概要	155
(2) カーフェリー及び内航革新船利用の実態	156
(3) カーフェリー及び内航革新船の選択の諸条件	159
(4) 将来的展望	164
(5) 要望事項	166
おわりに	167

資料編

1. 調査票

2. 集計結果

詳細は当センターへお問合せ下さい

(財)九州運輸振興センター

電話 : 092-451-0469

e-mail : info@kyushu-transport.or.jp